

ピロリ菌除菌療法（保険／保険外診療）について

令和3年4月改訂

背景

近年、ヘリコバクター・ピロリ（ピロリ菌）の除菌により、胃炎や消化性潰瘍が改善すること、さらには胃発癌が予防されることが報告され、専門学会からはピロリ菌の除菌治療を積極的に行うことが推奨されています。一方、ピロリ菌の除菌療法の普及とともに除菌不成功例の増加が問題となっています。わが国では、ヘリコバクター・ピロリ感染性胃炎、胃・十二指腸潰瘍などの疾患に対して一次除菌および二次除菌が保険適用となっていますが、二次除菌不成功例に対する三次除菌の治療方法は保険適用となっていません。

当院のピロリ菌外来では、三次除菌療法として、強い抗菌活性を有するニューキノロン系抗菌薬のシタフロキサシンを用いた三剤併用療法を行っております。さらに、シタフロキサシンにも耐性を示すピロリ菌に対する三次、四次除菌療法として、リファマイシン系抗菌薬のリファブチンを用いた三剤併用療法を新たに開始しております。このような強力な除菌療法を行うことで、難治性のピロリ菌に対しても高い除菌成功率が期待できます。

また、抗生剤であるペニシリンに対してアレルギーをお持ちの方に対しても、ペニシリン以外の抗生剤を用いた除菌治療を行っております。

除菌療法の実際

一次除菌

プロトンポンプ阻害薬（胃酸分泌抑制薬）であるボノプラザンと抗生物質であるアモキシシリンおよびクラリスロマイシンを用いて治療を行います。

ボノプラザン（タケキャブ）（20mg） 2錠/日

アモキシシリン（サワシリン）（250mg） 6カプセル/日

クラリスロマイシン（クラリス）（200mg） 2錠/日

以上3種の薬剤を朝、夕食後に7日間服用します。

（ ）内は当院採用薬品名

再除菌治療（二次除菌）

一次除菌治療に失敗しても二次除菌治療が健康保険で認められており、一次除菌のクラリスロマイシンをメトロニダゾール（フラジール）（250mg）2錠／日に変更した薬剤で治療を行います。

除菌の判定は？

当院では治療薬服用3カ月後以降に尿素呼気試験（UBT）で除菌の判定を行っています。なお、この検査は特異性、感受性とも非常に高いのですが完全ではなく、非常に稀ですが、疑陽性、疑陰性となることもあるので注意が必要です。また、この検査予定当日には食事を抜いてきていただく必要があります。

ピロリ菌外来での除菌治療

1. 三次、四次除菌（保険外診療）

一次除菌および二次除菌が不成功であった場合、希望により三次、四次除菌治療を受けることができます。まず、上部消化管内視鏡検査を行わせていただき、ピロリ菌に対する薬剤感受性試験を行った上で、最適な薬剤を選択します。

シタフロキサシンがピロリ菌の除菌に有効であると判断された場合、ボノプラザン（胃酸を抑制する薬）、アモキシシリン（ペニシリン系の抗生物質）、シタフロキサシン（ニューキノロン系の抗菌薬）の三剤併用療法を行います。

シタフロキサシンがピロリ菌の除菌に無効であると判断された場合、あるいは、シタフロキサシンを含む三剤併用療法によっても除菌できなかった場合は、ボノプラザン、アモキシシリン、リファブチン（リファマイシン系の抗菌薬）の三剤併用療法を行います。

ピロリ菌が除菌されたかどうかの判定は、除菌治療を行ってから約3カ月後に尿素呼気試験で判定いたします。

三次除菌

*内視鏡検査、組織培養および薬剤感受性検査

*薬剤 ボノプラザン（タケキャブ） 2錠／日

アモキシシリン（サワシリン） 6カプセル／日

シタフロキサシン（グレースビット） 4錠／日 7日間

*判定：尿素呼気試験

三次、四次除菌（シタフロキサシン耐性の場合）

*内視鏡検査、組織培養および薬剤感受性検査

*薬剤 ボノプラザン（タケキャブ） 2錠／日

アモキシシリン（サワシリン） 8カプセル／日

リファブチン（ミコブティン） 1カプセル／日 7日間

*判定：尿素呼気試験

2. ペニシリンアレルギーの方に対する除菌治療（保険外診療）

保険診療での除菌治療では抗生剤としてペニシリンが用いられますが、ペニシリンアレルギーの方に対し、当院では異なる抗生剤を組み合わせた投薬を行っています。

薬剤 ボノプラザン（タケキャブ） 2錠／日

メトロニダゾール（フラジール） 2錠／日

シタフロキサシン（グレースビット） 4錠／日 7日間

3. 治療成績

慶應義塾大学医学部消化器内科にて行われているリファブチンを用いた三次、四次除菌療法においては、二次、三次除菌が不成功であった除菌困難例に対しても、約 90%の症例で除菌が成功したと報告されています。

4. 除菌治療における副作用

約 30%の頻度で薬剤により下痢や味覚障害などの副作用が出る可能性がありますが、多くの場合軽度なものであり、薬剤内服は続けて下さい。頻度は非常に稀ですが、全身の発疹や発熱など重篤な副作用が出た場合は投薬を中断し、担当医へご連絡下さい。

上記に加え、リファブチンに特有の副作用として、尿などの体液が一時的に変色することがあります。また、稀ですが、肝障害、好中球減少、眼のブドウ膜炎などが出現することがあります。特にブドウ膜炎の既往がある方は、リファブチンを用いた除菌治療を受けることは出来ません。

5. 費用

保険適用外となるペニシリンアレルギー、三次、四次除菌療法は保険外診療として診察、検査、投薬に関して自己負担をしていただきます。なお、現在医薬品の容器あるいは添付文書に

記載されている用法・用量などと異なるため医薬品副作用被害救済制度を受けられない可能性もあります。

その他、ご不明な点やご質問などがございましたらお尋ね下さい。

連絡先

北里大学北里研究所病院 胃腸センター外来 TEL：03-3444-6161（代表）

休日夜間緊急連絡先：03-3444-6171

ピロリ菌外来—ピロリ菌除菌療法・ABC検査 料金表

項 目		使用薬剤等	設定金額 (税込)	
保 険 診 療	尿素呼気試験		保険負担割合による金額 (課税対象外)	
	一次除菌 (7日間)	タケキャブ 2錠/日		
		サワシリン 6カプセル/日		
		クラリス 2錠/日		
	二次除菌 (7日間)	タケキャブ 2錠/日		
		サワシリン 6カプセル/日		
フラジール 2錠/日				
自 費 診 療	投 薬	一次除菌 ペニシリンアレルギー (7日間)	タケキャブ 2錠/日	11,550円 (7日分)
			フラジール 2錠/日	
			グレースビット 4錠/日	
		三次除菌 (7日間)	タケキャブ 2錠/日	11,550円 (7日分)
			サワシリン 6カプセル/日	
			グレースビット 4錠/日	
		三次、四次除菌 (シタフロキサシン耐性) (7日間)	タケキャブ 2錠/日	13,750円 (7日分)
			サワシリン 8カプセル/日	
			ミコブティン 1カプセル/日	
	検 査	内視鏡検査+細菌検査		30,800円
		尿素呼気試験		7,150円
		ABC検査	抗ヘリコバクター・ピロリ抗体	8,800円
ペプシノゲン				
診 察		初診	紹介状有 3,300円 紹介状無 8,800円	
	再診	1,100円		

令和3年5月改訂